

きそさき

議会だより

VOL. 80

2014

平成26年8月1日発行



今回の表紙(めりえ)



南部幼稚園・保育園
ささき たくみさん
の作品

おもな内容

- 町議会新体制整う 2~3
- 第1回臨時会 3
- 第2回定例会 4~5
- ここが聞きたい【一般質問】 6~11
- 行政報告 12~13
- 議会日誌 14
- 議員トピックス 15

町議会、新体制でスタート



木曾岬町議会
議長 三輪 一雅

国と地方の政治で大きく違うことの1つに、地方は二元代表制を取り入れているということです。

国の議院内閣制は議員が総理を選び、内閣を作って国を動かすわけですが、地方、木曾岬で言えば、町長も議員も直接選挙で町民の皆さんから選ばれ、町長には執行権、議会には議決権を与えられているため、それらをお互いがより良い町政を目指して行使していくことが求められています。そして地方分権が進んでいる今、より一層議会の

重要さが求められています。そういった中でこの度、議員各位のご推挙により、私が議長を務めさせていただくこととなりました。

議長職は議会をとりまとめ、いく重要な職責です。私は議員経験も浅く、年齢的にも若輩者ですが、むしろそれらを逆手にとり、議会運営はもとより様々なことに私なりの考え方を取り入れつつ、議長職を遂行していく所存です。

直近の町政では、複合型施設の建設や防災に関して特に重要課題として議会でも様々な協議をしているところであり、難しい議会運営も強いられて行く場面もあると思いますが、精一杯尽力してまいります。町民の皆さんに於かれましても、町政に對しより一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



木曾岬町議会
副議長 伊藤 浩

この度の改選で議員の皆さまからのご推挙を賜りまして、副議長に再任させていただきました。自身の人生経験を生かし議長を補佐し、非力ですが重責を全うしてまいりたいと思います。

さて、平成26年度より「木曾岬町第5次総合計画」が始まりました。めざす木曾岬町の将来像は、「暮らしを守り 豊かな心と活力を育む きずな深めるまち」とされています。防災・防犯・少子高齢化・人口の減少など課題は山積しておりますが、町民の皆さまと行政と議会が一

体となって取り組む大切な課題であると思っています。そうした状況の中で、議会の役割はますます大きくなってまいります。三輪議長を中心に8名の議員が、それぞれの立場を尊重する中で議論をつくし、より良い木曾岬町をつくるために、町民の皆さまとともに、町民生活の向上を第一に考え、町民の皆さまの意見を町政に反映できるように一生懸命に頑張ってまいります。

最後になりましたが、皆さまの御指導と御協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶

平成26年

第1回
臨時議会

木曾岬町議会第1回臨時議会は、5月16日に開会され執行部提出議案2件を審議し、原案どおり可決しました。
また、議会人事では、申し合わせ任期により議長、副議長の改選を行い、議会体制を整えた後に閉会しました。

議事内容

可決した議案

議件名(議案の内容)

- 承認第1号 専決処分事項の承認を求めることについて
(木曾岬町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正することについて)
※消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令が平成26年3月7日に公布され、4月1日から施行されたことにより該当する町条例の一部改正が行われました。
- 承認第2号 専決処分事項の承認を求めることについて
(平成25年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第5号)について)
※源緑輪中地区で建設を予定している河川防災ステーションに伴う「旧町道用地の売払い収入」を平成25年度内に受け入れることが出来なくなったことにより、受入れ予算の減額補正が行われました。

議会人事関係

- 選挙第1号 議長選挙について
※議長選挙にて、三輪一雅議員が当選されました。
- 選挙第2号 副議長選挙について
※副議長選挙にて、伊藤浩議員が当選されました。
- 発議第1号 議会運営委員の選任について
※三輪一雅委員の辞任に伴い、新たに議会運営委員として伊藤律雄議員が指名されました。
- 選挙第3号 桑名広域清掃事業組合議会議員の選挙について
※桑名広域清掃事業組合議会議員選挙にて、三輪一雅議員が当選されました。
- 選挙第4号 桑名・員弁広域連合議会議員の選挙について
※桑名・員弁広域連合議会議員選挙にて、三輪一雅議員が当選されました。

木曾岬町議会構成

○委員長 ○副委員長

議長	三輪 一雅
副議長	伊藤 浩
議会運営委員会	○伊藤 好博 伊藤 正 ○伊藤 律雄 服部英二夫
常任委員会	
総務建設常任委員会	○伊藤 正 伊藤 律雄 伊藤 守 ○伊藤 浩 上村 幹夫 服部英二夫
教育民生常任委員会	○伊藤 好博 三輪 一雅 伊藤 守 ○伊藤 浩 上村 幹夫 服部英二夫
議会広報常任委員会	○伊藤 律雄 伊藤 好博 ○伊藤 正 三輪 一雅
議会選出監査委員	伊藤 好博





平成26年

第2回

木曾岬町議会定例会

平成26年第2回木曾岬町議会定例会は、6月13日から20日までの8日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、補正予算案、条例改正案など議案4件、報告案件3件、同意案件1件、請願1件、発議2件の合計11件の議案等について審議されました。

会期日程の内容は次のとおりです。

13日の開会日には、会期の決定を行った後に、加藤町長から行政報告を受け、その後、議案4件を上程し、町長の提案理由説明と所管課長の詳細な説明を受けました。次に、報告議案が上程され、提案理由説明と詳細説明を受けました。続いて同意案1件を審議し、原案のとおり同意することを決定しました。次に、請願1件を上程し、審議により原案のとおり採択し、初日の審議を終え散会しました。

18日には一般質問が行われ、5名の議員が質問に立ちました。(質問内容は「ここが聞きたい一般質問」に掲載) 一般質問を終えた後に、議案および報告案の質疑が行われ、散会しました。

20日の最終日には、初日に上程された議案4件について、討論・採決を行い、全議案ともに賛成多数により原案のとおり可決されました。次に発議案2件が提出され、可決の後に、第2回定例会を閉会しました。

議事内容

可決した議案 ◎執行部提案

議件名(議案の内容)

議案第30号

平成26年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ46,000千円を追加し、予算総額を2,866,000千円とする補正予算です。今回の補正は、4月1日付け人事異動並びに機構改革に伴う人件費の予算調整を行いました他、新たな事業の取組み等により増額の補正が行われています。主な補正内容は次のとおりです。

- 複合型施設建設事業(土質・性能評価)調査費
15,751,000円
- 社会保障税番号制度システム整備費
7,776,000円
- 町観光マップ(増刷分)作成費
572,000円
- 自主防災組織(新規:1組織)貸与備品購入費
4,525,000円
- 消防団員退職報償金
1,511,000円
- 夢とふれあい教育基金積立金
1,500,000円

議件名(議案の内容)

議案第31号

木曾岬町税条例等の一部改正について

※地方税法等の一部を改正する法律などの改正に伴い、本条例の一部改正が行われました。

法人住民税法人税割の税率の改正や軽自動車税の標準税率(年額)の改正などが行われています。

議案第32号

木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部改正について

※教育振興並びに創造性豊かな、ふれあい文化の町の形成に向けた取組に役立てて頂きたいと、2件のご寄附(合計150万円)を受けましたので、これを基金に積立てるにあたり、本条例の一部改正が行われました。

議案第33号

木曾岬町自主運行バス車両購入契約について

※平成26年5月13日一般競争入札に付した木曾岬町自主運行バス車両購入契約について、地方自治法及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求められました。

報告案件

議件名（議案の内容）

報告第1号
平成25年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計継続費繰越計算書の報告について
※平成25年度予算のうち、継続費として平成26年度へ繰越した金額37,058,588円の継続費繰越計算書の報告が行われました。
内訳として、複合型施設建設事業における基本設計費、火葬場火葬炉等の改修費用などが継続費として繰越されています。

報告第2号
平成25年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
※平成25年度予算のうち、繰越明許費として平成26年度へ繰越した予算15,750千円の繰越計算書の報告が行われました。
内訳として、子ども・子育て支援新制度に係る電子システム構築経費などが繰越明許費として繰越されています。

報告第3号
平成26年度木曾岬町土地開発公社事業計画及び会計予算並びに平成25年度木曾岬町土地開発公社事業報告及び会計決算報告について
※地方自治法の規定により、町が出資している木曾岬町土地開発公社の事業計画、予算、決算、経営状況などの報告が行われました。

人事案件

議件名（議案の内容）

同意第1号
木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
※木曾岬町固定資産評価審査委員会委員の任期が、平成26年6月23日付で満了となるため、引き続き、服部 満氏を選任しようとすることから同意を求められました。

発議第3号
木曾岬町農業委員会委員の推薦について
※任期満了に伴い、農業委員会等に関する法律の規定により、議会から農業委員3人を推薦したものです。

請願

議件名（議案の内容）

請願第1号
「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出を求める請願書
※手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学び、自由に手話を使い、更には手話を言語として普及、研究することができる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」の制定を求める請願書です。

可決した意見書

議件名（議案の内容）

発議第2号
「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書について
※この意見書は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣あてに送付しました。

各議員の賛否

議案等の審議結果です。賛否の分かれた議案のみを表示しています。
他の議案は全会一致で賛成となりました。

議案番号	議案名	議員名	服部 英二夫	伊藤 守	上村 幹夫	三輪 一雅	伊藤 律雄	伊藤 浩	伊藤 好博	伊藤 正	審議結果
議案第30号	平成26年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第1号)について		○	○	×	—	○	○	○	○	可決
議案第31号	木曾岬町税条例等の一部改正について		○	○	×	—	○	○	○	○	可決
議案第32号	木曾岬町夢とふれあい教育基金条例の一部改正について		○	○	×	—	○	○	○	○	可決
議案第33号	木曾岬町自主運行バス車両購入契約について		○	○	×	—	○	○	○	○	可決

※議長は裁決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長採決となります。
○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席を表示しています。

11人が
聞きたい

一般質問

この記事は、通告順に掲載し、議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、一般質問の全文は

木曾岬町議会議会記録(北部公民館にて公表)でご覧いただけます。

町政のゆくえは…

5名の議員が質問

ページ数 7 | 9番議席 伊藤 正議員

- 津波避難強化地域指定漏れ対策を
- 第6期高齢者福祉サービスの充実を
- 継続されている行政サービスの進化は

ページ数 8 | 8番議席 伊藤好博議員

- 課設置条例改正後の危機管理について

ページ数 9 | 1番議席 服部美二夫議員

- 木曾岬町の行政改革について
- 自主運行バスについて

ページ数 10 | 7番議席 伊藤 浩議員

- 防災危機管理について

ページ数 11 | 2番議席 伊藤 守議員

- 自主防犯組織育成と青色回転灯パトロール車について
- 町内不法投棄箇所カメラの設置を
- 少子化対策について



一般質問



9番議席 伊藤 正 議員

津波避難強化 地域指定漏れ対策を

協議会が設置され、今後の検討が進められます
町長

質問 南海トラフ巨大地震に備えて、国が指定した基準から、県下では当町と桑名市が漏れました。液状化現象で堤防が損壊したらどうなるか。バランスのとれた避難所整備計画はきちんと出来ているのでしょうか。町の対応についてお聞きしたい。

答弁 4月30日に県北部海抜0m地帯対策協議会が設置されました。協議会では海抜0m地帯特有のソフト及びハード対策などを検討することにしており、強化地域と同様の支援が講じられるよう求めています。また、避難所整備計画も再検討していきたいと考えています。

第6期高齢者福祉サービスの充実を

法の改正に沿って基盤整備に取り組む
町長

質問 平成27年度から平成29年度までの第6期高齢者福祉計画を策定中でありますが、国は要支援1・2に対する訪問介護サービス等を引き下げるとしています。6期計画でのサービス充

実をどのように図っていきますか。
答弁 介護保険法の改正によりまして平成29年度末に要支援者向けの予防給付につきましては全国一律のサービスから切り離し

継続されている行政改革の進化は

引続き行政改革を進める
総務政策課長

質問 町長公約である行政改革は、副町長をチームリーダーとして進められてきましたが、新聞報道にもあるように成績は悪く、工期や事業の遅れもあり、住民からクレームも出てい

ます。改革は進化しているのでしょうか。
答弁 新聞報道にあった行政の努力目標に関する事項は、今回の評価事項は人員の削減数と給与の削



ダイサービス利用の状況

て、市町村の事業として実施して行くこととなります。この制度の移行の過程である第6期計画では、要介護者数の伸びの抑制も含め、介護予防、生活支援の基盤整備について取り組んでいきたいと考えています。

減であり、合併等で随分大規模な削減数のある市町との対比となり、その点で、若干木曾岬町の努力目標が低いという評価をいただいたのが現状かと認識しています。
事務事業に関して、各組織が今年一年間どんな仕事をしていくかという組織目標を策定し、個々に業務内容や体系を確認しており、こうした取り組みから課題とされた遅延等の対策に繋がると考えています。



8番議席 伊藤好博 議員

課設置条例改正後の危機管理 について

危機管理部門の強化を 進めました

町長

質問

本年3月第1回定例会において、本町課設置条例に一部改正が行われ、危機管理課が4月より創設されました。

事務分掌によりまずと危機管理課は、1. 防災対策、2. 災害対策、3. 消防及び防犯、4. 交通安全、5. 公共交通、6. 情報の管理保護、7. 統計、8. その他の危機管理の「8項目」が掲げられております。

26年度の危機管理部門の強化策と、それに伴う予算についてお尋ねします。

特に、防災については3月に三重県防災対策部の地震被害想定調査結果の概要について、報告もいただいておりますが、南海トラフ地震、それに伴う津波浸水予測、また地震による液状化、特に伊勢湾沿岸部の海抜0m、マイナス地帯の液

状化による浸水、プラス、津波による被害と心配は募るばかりです。

最近、マスコミ発表にありましたように、南海トラフ巨大地震特措法に定める「南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」の指定

基準からはずれた木曾岬町・桑名市、町民の心配をしっかりと受けとめ、答弁をお願いします。

答弁

危機管理に関する業務については、本年4月から新たに危機管理課を設置し、課長以下スタッフ4名体制でスタートいたしました。

今回の組織改正を契機に危機管理部門の強化を図り、迅速かつ適切な対応ができるよう取り組んで行きたいと考えています。

具体的には、この3月に三重県から公表された地震被害想定調査を踏まえた津波浸水への対応や、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域の指定から外れた当町と桑名市、そして事務局

である県を構成員とする「県北部海抜ゼロメートル地帯対策協議会」での検討のほか、町の防災対策の基礎となる地域防災計画の全面改定など、町民の皆さんに安心・安全な暮らしが提供できるよう、防災対策に力点をおき、取り組んでいくところです。

なお、各種事業を展開するに要する予算措置の状況でございますが、災害対策費の主なものとしたしまして、町の地域防災計画改定業務に12,960千円、小学校及び中学校の校舎屋上を避難場所として利用するための外付け階段や屋上手摺の設置等に伴う実施設計業務に14,472千円、防災行政無線の更新に40,882千円などを予算措置しているところです。

危機管理部門の業務は、間口も広く、そして継続的な取り組みが必要です。今年より来年、来年より再来年というように、町としての危機管理行政能力が着実に向上するよう取り組んで行く所存でございます。



木曾川高潮堤防耐震工事 現地写真
木曾川左岸源緑輪中地内(発注者:木曾川下流河川事務所)

一般質問



1番議席 **服部英二夫** 議員

木曾岬町の行政改革について

常に改善を心がけていく

町長

自主運行バスについて

今後とも安全運行に努めていく

町長

質問

地域活性化に向けた公共事業のために新設され、行革の度合いによって補助率に差をつける国の「がんばる地域交付金」が、新聞に掲載されていましたが、県下で下から11番目という行革努力でしたが、加藤町長の公約でもありました行政改革の取組について、どういった評価をされてみますか。また、行革とは痛みを分かち合っている、いくものだと思えますので、ムチばかりでは明るい町にならないと思います。アメリも出して町の活性化をはかり、それが定住化・少子化対策にも繋がると思いますが、これからの改革を続けていっていただきたいと考えますが、今後の取組についてどの様に考えてみますか。お聞きします。

答弁

「がんばる地域交付金」について、対象となっている事業は実施をしていますが、同じく国の緊急経済対策の100%の定額補助金を受けたことにより、対象となりませんでした。また、行政改革は多種多様な業務も常に改善を心がけ、限られた財源の中で、いかに効果の大きい事業展開ができるかを、常に心がけています。



質問

4月から運行管理委託業務が変更になりましたが、遅延・事故などが発生しています。安全管理や運行管理にしても、町が持っているマニュアルはうまく伝達されていますか。

答弁

委託業務に係る適正な運行管理義務および安全対策義務、運転手の教育義務等に関する指導を実施し、町内の道路状況を熟知した従前の運転手から運行危険箇所の教育を実施させるとともに、危険予知に関する話し合いをし、安全運転の徹底をはかり、これからの運行の状況について、十分に注視していきたく考えております。



自主運行バス

ともに、危険予知に関する話し合いをし、安全運転の徹底をはかり、これからの運行の状況について、十分に注視していきたく考えております。



7番議席 伊藤 浩 議員

防災危機管理について

専門知識養成講座等への参加も検討していく 町長

質問

加藤町長は今年度の目標に、「防災について」を掲げておられます。

5月18日に行われた木曾三川連合水防演習の中で、岐阜大学のブースにおいて、文部科学省の支援を受

け、「社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座」の紹介がありました。

年2回ほど4週間受講し、認定試験に合格してインフラ施設維持管理の高度専門技術認定者(ME)の

知識を習得させてはいかがでしょうか。

役場職員も専門的知識を身につける事は大切ではないでしょうか。

答弁

「社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座」は、行政の管理者や民間の建設業技術者が、

橋梁やトンネルまた、舗装や河川、水道など多面に亘り、設計や維持管理指針を習得することで共通の高度な知識を持った技術者を養成し地域に貢献する人材を育成するというものであり、この講座への受講資格は行政職員の場合、2年以上の実務経験のある土木技術者が基本であることから、現段階で町職員を参加させることは難しいと考えますが、

将来の町の施設の維持管理の面から、専門知識を持つ職員の養成は必要であると考えます。

現段階では町の施設の維持管理については専門的なコンサルタントに調査を委託し、この調査結果を基に管理計画を策定しながら施行をしているところです。

また、本年3月に地震被害想定調査結果が公表されたことを受け耐震を含めた減災計画等も早期に策定することが求められています。

現在までの策定状況では、橋梁などの道路構造物については平成23年度から長寿命化修繕計画を策定しております。また、排水機場や農業水利施設は昨年度までに農業水利施設保全合理化事業、農村地域防災減災事業を実施し施設の機能診断を行っています。下水道施設では、昨年度までに公共下水道処理場の管理棟の耐震診断や地震対策計画を策定しており、今後マンホールポンプや処理場の機械・電気設備の長寿命化計画を策定する予定です。

これらの調査結果を踏まえて、今後は適正な保全計画を策定し維持管理を行うべく必要があり、将来的には専門知識を持つ職員の配置が望ましいと考えていることから、今後は職員が受講できる体制を整えた上で養成講座などへの参加も含めて検討していきたいと考えています。



木曾三川連合総合水防演習より
(演習工法:竹流し工)

一般質問



2番議席 **伊藤 守** 議員

自主防犯組織育成と 青色回転灯パトロール車について

育成を進めていきます

町長



質問 第5次総合計画の中に、自主防犯組織の育成と青色回転灯パトロール車、平成30年6台、平成35年10台の目標があります。これらの今後の進行計画についてお尋ねします。

答弁 第5次総合計画におきましても、自主防犯組織の育成と青色回転灯パトロール車につきまして、基本成果指標を位置づけ、取り組んでいくこととしております。

町といたしましても、これらの状況を少しでも良くするために、自主防犯組織への活動支援制度を設けております。

町内不法投棄箇所 にカメラの設置を

他市町の状況など調査を進めます

町長

質問 町内での不法投棄がある状況から、これらの箇所にカメラを設置してはどうかと考えますが、いかがでしょうか。

答弁 監視カメラの設置は有効な手段であり、効果を上げている市町村もあると聞きます。プライバシーの問題などもあり、監視カメラを設置している市町村の状況などを調査し、費用対効果といったことも検証の上で、設置するか否かを決定していきたいと考えています。



少子化対策について

情報の発信を進めていく

町長

質問 少子化対策が最重要課題の一つとされていますが、結婚に至るまでのサポートを行っていく考えなどはありますか。この少子化対策は今後非常に

重要になってきますので、県の進める事業を待つことも一つですが、早い時期に対策を講じないと駄目です。そうした姿勢を見せていただければと思います。

答弁 出会いの場の創出については、地元では周囲の目が気になったり、対象者が限られるといった課題もあり、町が単独で婚活イベント等を実施するのは限界があると考えていますが、県において、「みえの出会いの支援事業」として出会いの場の情報発信などが計画されておりますことから、この事業が開始されましたら、これらの情報を町民の皆さん方にPRしていきたいと考えています。

再質問 少子化対策は最重要課題の一つですので、役場職員の知恵を借りて、こうした取り組みを進めたことはありますか。ありませんか。

答弁 職員に対しては、そうした聞き合わせとか、取組みを全庁的にとり進めたいと考えています。

行政報告

要旨



加藤 隆 町長

行政報告として、2件の報告をいたします。

まず第1点は、「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」、いわゆる「南海トラフ地震特措法」の津波避難対策特別強化地域の指定関係等についてご報告いたします。

この法律は、昨年の12月27日に施行され、南海トラフ地震による災害から、国民の生命、身体及び財産を保護するため、南海トラフ地震防災対策推進地域や津波避難対策特別強化地域の指定のほか、津波避難対策緊急事業に対する財政上の特別の措置等について定め

られています。

市町村にあつては、津波避難対策特別強化地域の指定を受けた場合には、津波避難対策緊急事業計画を作成したうえで、津波避難対策の施設整備に対する補助割合の特例等が適用されることとなっています。

このような中、先般、三重県から公表された「三重県地震被害想定調査結果」では、国土交通省が定めた堤防条件の影響により「津波浸水深30cm到達予測時間分布図」において地震発生とほぼ同時に町内の一部の地域において浸水が始まると予測されています。

津波避難対策特別強化地

域の指定について、三重県として知事が直接国に対し強く要請し、当町も三重県と連携し国へ要望活動を続けましたが、桑名市と当町は津波避難対策特別強化地域の市町村には含まれませんでした。

このようなことから、引き続き、国に対し、海抜ゼロメートル地帯の特殊状況を訴え、三重県独自の提言活動に加え、愛知県側の隣接する旧海部津島地域の全市町村も指定されていないことから三重県と愛知県、更に岐阜県が連名で申し入れをいたしましたところです。

要望活動とともに国土交通

省への木曾川高潮堤防等の耐震補強工事の促進、三重県には国の特別強化地域同様の支援と鍋田川右岸堤防の耐震補強工事等をそれぞれ要請してきたところであります。

県においても、知事から当町を含む海抜ゼロメートル地帯の支援をする旨の表明がなされ、去る4月30日には、県、桑名市及び木曾岬町で構成する「県北部海抜ゼロメートル地帯対策協議会」が設置され、ソフト及びハード対策等の協議を実施しているところであり、当町の状況を訴え早急に対策を講じていただけるよう、求めていきたいと思

います。

防災・減災対策は喫緊の課題と認識しており、これら対策が着実・堅実に進展できるよう取り組んでいきますので、引き続き、町議会議員の皆さまはじめ、町民の皆さまにはおかれましては、ご理解・ご協力賜わりますようよろしくお願い申し上げます。

次に、2点目、複合型施設建設事業に係る現在の状況を報告いたします。

複合型施設事業につきましましては、議員各位及び建設委員会の皆様のご指導、ご尽力をいただき、この度、基本設計を取りまとめることができました。

さらに、より良い計画となるように、現在、住民の皆様にご意見をコメントをお願いしておりますので、この機会にこれまでの経緯や計画づくりに盛り込んできた基本的な考え方をどをご報告申し上げます、今後

の事業推進に一層のご理解
とご協力をお願いしたいと
存じます。

当町の役場庁舎の建設計
画は、以前にも何度もあり
ましたが、具体化しませ
んでした。

老朽化し耐震性の低い庁
舎でしたので、私は庁舎の
機能だけでなく防災拠点機
能と、当町で不十分な福祉
や教育・文化の拠点となる
施設として、複合型施設の
建築構想を持っておりまし

たので、その基本構想作成
の準備をし、予算を提出し
た3月定例会の最中、突然
発生した平成23年3月11日
の東日本大震災の惨状は、
我が国が、これまでに取り
組んできた防災対策の想定
を根幹から覆すものでし

た。突然襲ってくる地震や
一瞬にして全てのを壊
滅的に破壊する津波を目的
の当たりし、伊勢湾台風の
悲劇を体験している私たち
木曾岬町にとりましては、
我がことかと思いでありまし

た。

住民の皆様は生命や暮ら
しを守ることは、行政の最
大の責務であると改めて痛
切に感じ、津波避難所の整
備や防災拠点機能を主体と
した複合型施設の建設を強
く決意し、これまで事業を
進めて参りました。

この施設づくりには、平
成23年に作成した基本構想
で、事業計画の基本理念を
定めております。

1点目が、役場庁舎をは
じめ図書館、町民ホール、
保健センター及び福祉教育
センターを一体的に整備
し、町民の誰もが集い、憩
える施設づくりを目指し
「木曾岬町の核となる施設
を作る。」こと。

2点目が、安全性に優れ
た町民の安全を守る施設、災
害対策本部となる「災害に
強い安全な施設を作る。」
こと。

3点目が、公共施設を集
約することで多くの町民の
交流を促し「新たなコミュ

ニティを形成する施設。」
と言うもので、平成24年に
作成した基本計画やこの度
の基本設計の基本的な考え
方として大きく位置づけて
おります。

この事業の計画審議は各
課の課長で構成した「庁内
検討委員会」で素案作りを
進め、その案を建築の専門
家と公募による委員さん及
び議会など、住民の代表の
方々で組織した複合型施設
建設委員会、慎重に検討
を重ねご意見をいただきま

した。
庁内の検討委員会は、事
業着手から延べ31回開催
し、建設委員会では分化合
を組織して細部の検討に熟
慮をいただきました。

議員の皆様にも、計画の
当初から主要な時にはご相
談を申し上げ、個々の業務
に区切りが付いたときに
は、段階的にその成果につ
いて、ご報告申し上げてき

たところでございます。
計画の概要としては、新

築部分は役場機能の行政棟
と図書室・ホールの教育文
化棟で、行政棟は、来庁者
の利便性を最優先し4階に
は防災機能を一元化してお
ります。

交流空間となる木曾岬ス
テーションは、行政棟と教
育文化棟、既存棟を有機的
につなぎ、情報発信の拠点
になります。
また、既存の福祉・教育
センターは、改修を行い、
1階を子育てサロン等の福
祉ゾーンとして利用し、議

場や委員会室を2階に配置
する予定で、より機能性の
高い経済的な計画となつて
おります。
なお、行政棟は、免震構
造を採用し防災拠点として
の機能維持を図り、ホール
や会議室並びに各施設の屋
上を合わせ1,200人程
の避難スペースとして利用
できる計画にもなっており
ます。

今後は、基本構想で定め
た基本理念の実現を図るた

め、これまで検討を重ねて
きた基本設計とパブリック
コメントのご意見を基に実
施設計を作成し、建設工事
へと進めていく計画であり
ます。機能的で安全安心な
木曾岬町の中心施設として
50年後、100年後も町民の皆
様に親しまれ、気軽にご利用
いただける施設を、いま、
住民の皆様と共に造ってい
きたいと考えておりますの
で、ご理解とご協力をお願
いたします。

以上のことを申し上げます
して、行政報告といたしま
す。



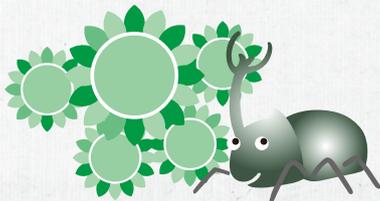
議会日誌

2014 4月

- 18日●三重県総合博物館記念式典(津市)に議長出席
- 20日●AZクラブ総会(ふるさと創生ホール)に議長出席
- 25日●桑名・員弁広域連合出納検査(桑名市)に議長出席

2014 5月

- 9日●議員懇談会
- 12日●議会運営委員会
- 16日●第1回臨時会
- 19日●桑名広域清掃事業組合議会臨時会(桑名市)に議長出席
- 20日●例月出納検査
 - 木曾岬町土地開発公社監事会に伊藤(好)議員出席
 - 木曾岬町文化協会総会に議長出席
- 21日●木曾岬町商工会通常総会に議長、伊藤(正)総務建設委員長出席
- 22日●木曾岬町社会福祉協議会評議員会に副議長出席
- 23日●北勢5町議会議長会設立総会(朝日町)に議長出席
- 26日●三重県町村議会議長会理事会(津市)に議長出席
- 27日●桑名・員弁広域連合第2回臨時会(桑名市)に議長出席
 - 木曾岬町土地開発公社理事会に関係議員出席
- 29日●議会全員協議会
 - 木曾岬町青少年育成町民会議総会に議長出席
- 30日●木曾岬神社春季例祭に議員多数出席



2014 6月

- 1日●町内一斉清掃
- 2日●桑名地域生活安全協会通常総会(桑名市)に議長出席
- 6日●議会運営委員会
- 8日●木曾岬町遺族会追悼法要に議長、伊藤(律)議員出席
- 12日●例月出納検査
- 13日●第2回定例会(初日)
- 18日●第2回定例会(一般質問日)
 - 議会全員協議会
- 20日●第2回定例会(最終日)
 - 海南病院との意見交換会
- 25日●桑名・員弁広域連合出納検査、決算審査(桑名市)に議長出席
 - 木曾岬町国民健康保険運営協議会に伊藤(好)議員出席

2014 7月

- 2日●リニア中央新幹線建設促進期成同盟会建設促進大会(津市)に議長出席
- 3日●木曾三川公園建設促進下流域期成同盟会総会(桑名市)に議長出席
- 4日●三重県戦没者追悼式(津市)に伊藤(好)議員出席
- 10日●議会広報常任委員会
- 11日●例月出納検査
 - 水道事業会計決算審査
- 15日・16日・23日
 - 平成25年度一般会計及び特別会計決算審査
- 17日・18日
 - 三重県町村議会議長会理事会及び行政視察(伊勢市ほか)に議長出席
- 22日●議会広報常任委員会
- 25日●桑名・員弁広域連合出納検査(桑名市)に議長出席

木曾岬町議会の
LINE@を登録しよう!!



上記QRコードを読み取り、木曾岬町議会のLINE@を登録すると定例会や各種委員会の情報を受け取ることができます!

議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも自由に傍聴することができます。

次回、9月定例会、本会議の予定です。

- 9月11日(木) 午前9時 開会、議案上程を予定しています。
- 9月22日(月) 午前9時 一般質問を予定しています。
- 9月24日(水) 午前9時 議案採決、閉会を予定しています。

なお、各日程等は変更する場合がございますので、お手数ですが議会事務局まで、お問合せください。

●問合せ先/議会事務局 ☎68-6108

みなさまのご意見を募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。また、要望など、どのような内容でも結構です。

ご意見、ご質問などを、ぜひお寄せください。

●提出先/議会広報常任委員会(議会事務局) ☎68-6108



町内一斉清掃活動に参加

6月1日、恒例となりました「町内一斉清掃活動」に議員も参加し、主要道路などに落ちていた空き缶などのごみ拾いを行いました。

6月と12月の年2回実施されているこの町内一斉清掃活動には、早朝より多くの町民の方がご参加いただいております。お住まいの地域周辺の美化に向けて積極的に取り組まれている多くの姿を見かけました。

暑い中お疲れ様でした。今後とも、地域の環境美化にご協力をお願いします。



海南病院長との意見交換会を行いました

6月20日定例会散会后、役場会議室において海南病院との意見交換会を行いました。

当日は海南病院山本病院長より「医療制度改革と海南病院のビジョン」と題したレクチャーを受け、



意見交換を進めました。議員からは、外来時の待ち時間や駐車場の確保に関する発言などがありましたが、海南病院を取り巻く環境、木曾岬をはじめとしたこの地域の医療・介護の現在と将来の情勢などをお聞きし、町が進める安全で安心のまちづくりに欠かせない、医療・介護分野における意識の共有を図る機会となりました。

編集後記

7月に上陸した台風8号、およびこれにともなう梅雨前線の活発化により、豪雨や強風による災害が各地でおきました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。また、亡くなられた方のご遺族に深くお悔みを申し上げます。

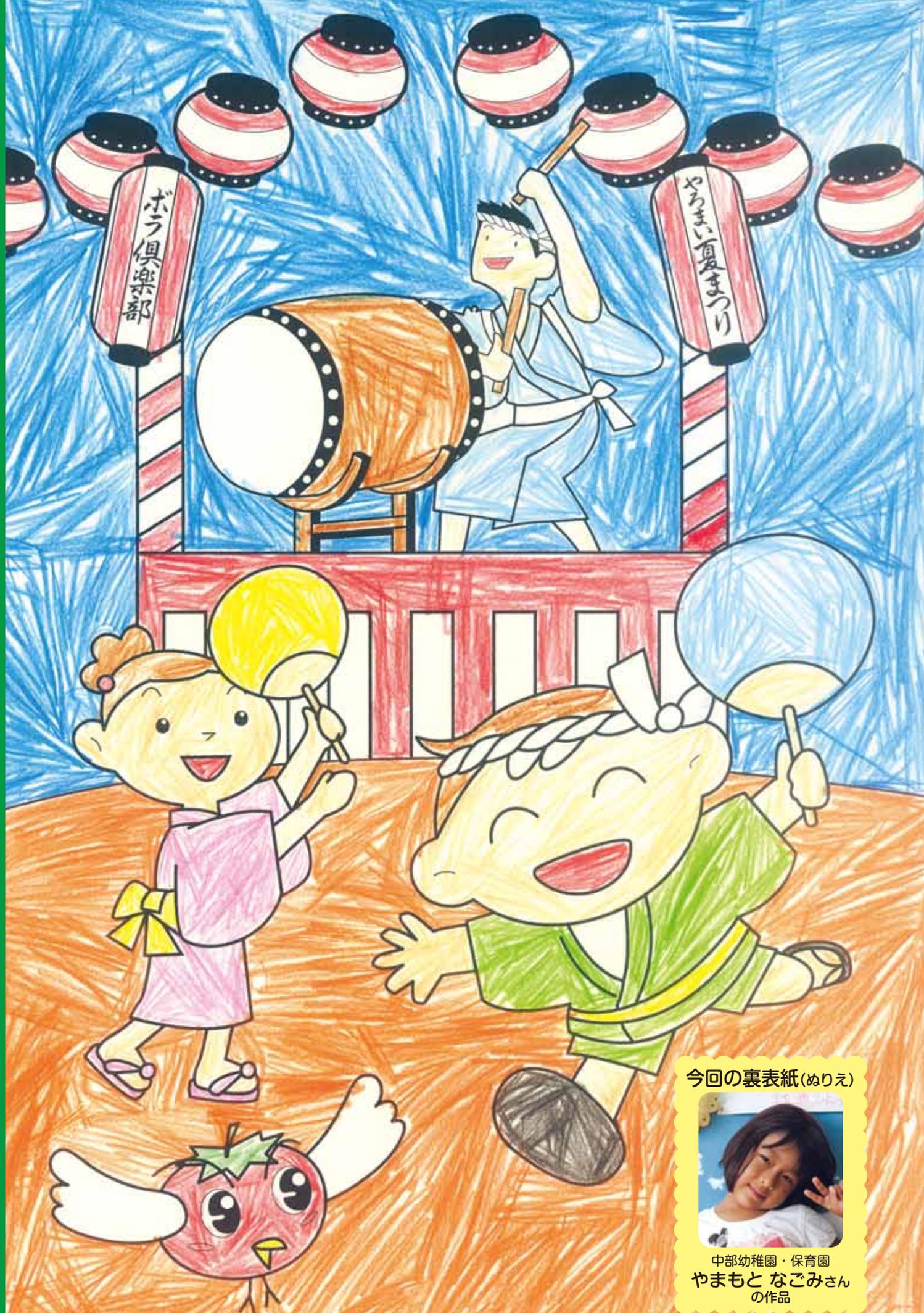
今後、木曾岬町においては、複合型施設建設、源緑地区河川防災ステーション事業など、特に防災・災害対策に力をいれて取り組んでいくことを改めて強く感ずるところです。

安全・安心で住みよい町をめざし、我々議員一同、今後も一層の努力をしてみたいと思いますので、よろしくお願いたします。

ここに、第80号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会広報常任委員会一同





発行／三重県桑名郡木曾岬町議会
編集／議会広報常任委員会

〒4398-8503 三重県桑名郡木曾岬町大字西対海地251番地
☎(0567)68-6108(直通) FAX(0567)66-3111
E-mail: gikai@town.kisosaki.mie.jp

今回の裏表紙(めりえ)



中部幼稚園・保育園
やまもと なごみさん
の作品